

養護老人ホーム 桑名市清風園

1. 養護老人ホームとは
2. 清風園での取り組み
3. まとめ



桑名市清風園 岡井 恵美子
吉住 祐哉

1. 養護老人ホームとは

- おおむね65歳以上の高齢者で、家庭環境、住宅事情、また経済的な理由等により、家庭での生活が困難な方が入所する施設です。
- 特別養護老人ホームとは異なり、介護保険施設ではなく、施設への入所は市町村の措置により行われます。
- ねたきりや認知症などで常時介護が必要な方は入所できません。
- 本人等の所得状況によって、負担金が必要となります。

養護老人ホームの入所者像(例)

1 身寄りの無い独居高齢者

2 無年金など経済的に困窮した方

3 虐待を受けている高齢者

4 認知症や精神的な障害をお持ちの方

5 ホームレスの方

6 賃貸住宅から立ち退きを受けた方

など

清風園の日課

季節の行事

外部ボランティア

介護保険サービス

園内ボランティア

サークル活動

	朝食	体操	洗濯		洗濯		夕食
			入浴(火・木・土)	昼食	入浴(火・木・土)		
			自由		自由		

7:40

9:15

9:30

12:00

17:00

ゴキブリ団子作り

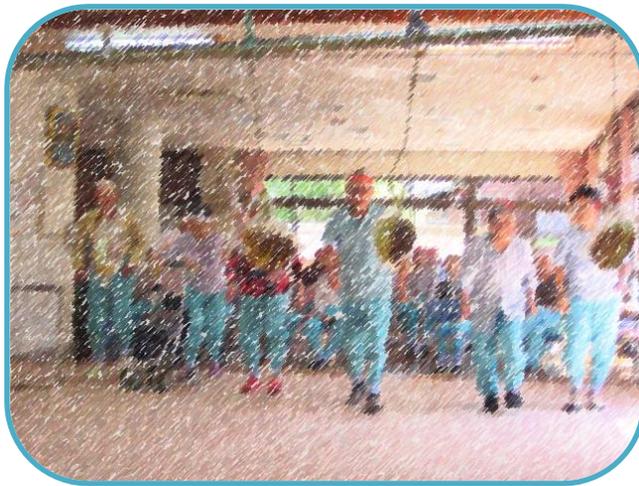


花見



納涼会

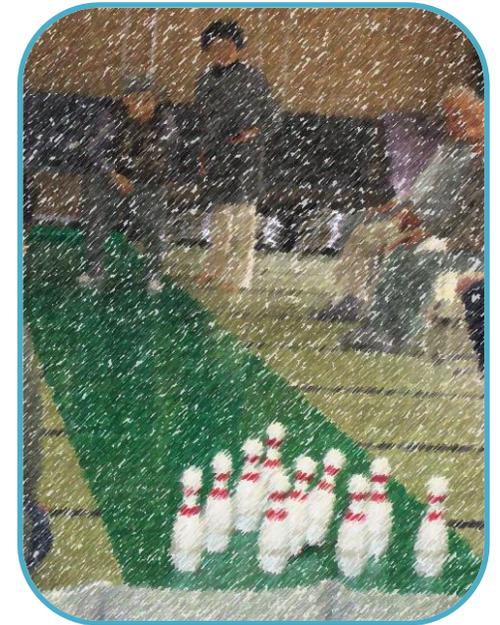
さまざまな活動



運動会



新年会



ボーリング大会



生け花



マージャンクラブ



カラオケ大会

サークル活動



園芸サークル



お料理会



2. 清風園での取り組み

(1) 朝の体操の改善



現状(22年度):
骨折者の増加。(1年間で6件)

目標: 転倒・骨折入院の減少

平成22年度以前

- ・ 課題(1) 朝の体操はラジオ体操のみで短時間
- ・ 課題(2) 身体的自立度の高い方のみで参加者数が少ない (入所者の3分の1)

平成23年度以降

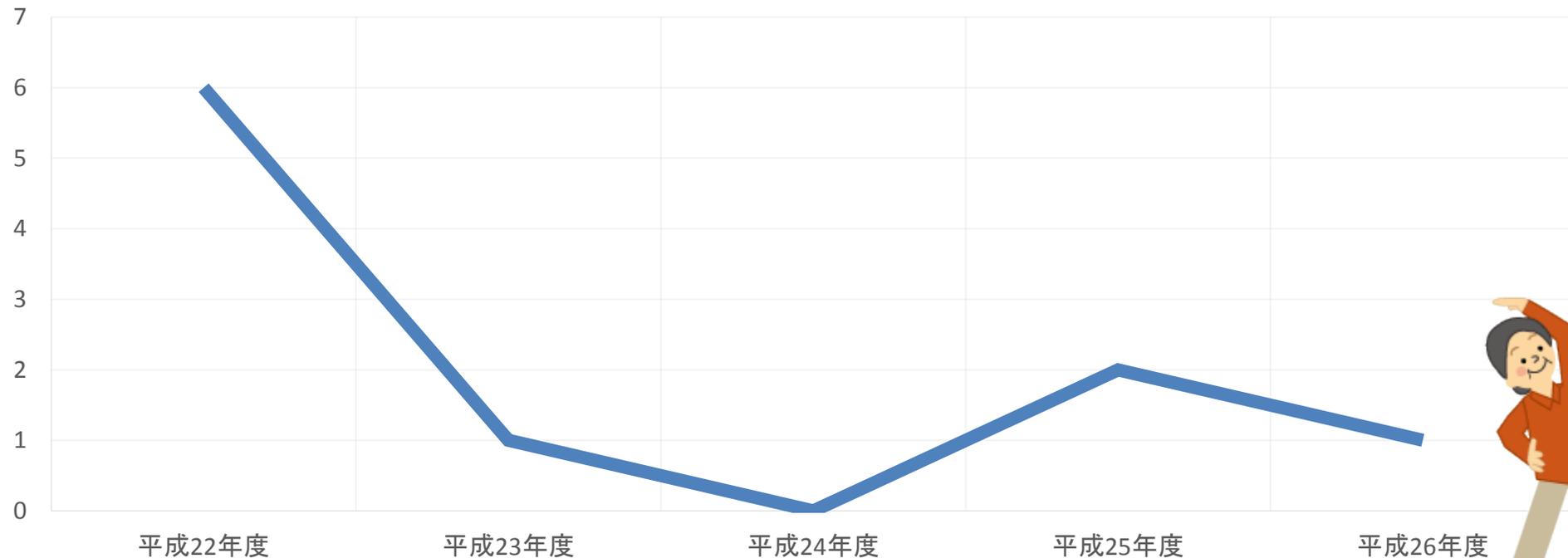
- ・ 改善(1) 内容を見直し、下肢筋力強化に重点を置き、時間を延ばす
NHK「みんなの体操」(テレビを見ながら)
しっかり貯筋体操→腹式呼吸→尿失禁体操 (職員の声掛け)
- ・ 改善(2) 椅子に座って行える為、身体的自立度の低い方も参加可能に(入所者の3分の2)



結果

- 毎朝15分間、体を動かすことの習慣化による下肢筋力低下の予防
= 転倒による骨折者の減少に成功。

転倒・骨折入院者数



相乗効果

- ・朝の体操の参加者の増加＝清風園全体の活性化に繋がった。



今後の課題

- 体操のマンネリ化防止
 - 入所者の意見を取り入れる。
 - 季節ごとに歌を変える。
 - 研修等で情報収集を行い、その都度改善を加える。

2. 清風園での取り組み

(2) 地域住民との交流



現状：閉鎖的で地域住民との接点が少ない。

目標：地域との接点を持つ。

平成22年度以前

- ・ 課題(1)施設のイメージが薄い
- ・ 課題(2)閉鎖的で、地域住民との接点がほとんど無かった。

平成22年度以降

- ・ 改善(1)談話室と集会室を開放し、脳の健康教室が始まる。
- ・ 改善(2)平成24年秋、サポーターと利用者の中から、定期的に茶話会を開きたいという声があがり、月に2回、清風園の談話室を開放することとなる。(コスモスの会)
- ・ 改善(3)脳の健康教室での修了式後の交流会を開催する。

脳の健康教室



コスモスの会



レクダンス



結果

- 定期的に入所者や職員と交流 = 清風園のイメージの向上

今後の課題

- 入所者の理解を得た上で
地域の居場所・活動の場として維持・継続する。
- 相談拠点として、関係機関へ繋ぐ。

まとめ

- 入所者、地域住民の声を聴き、居心地の良い施設を目指します。



ご清聴ありがとうございました。